

新フェローの紹介（2016年）

フェローは、オペレーションズ・リサーチの研究と発展に多大なる貢献をなされた方に、その功績を称えて贈られる称号です。新フェロー7名の方が理事会で以下のとおり選ばれました。フェロー記は、2016年3月17日の春季研究発表会（慶応義塾大学）にて贈呈されました。

藤澤 克樹（ふじさわ かつき）氏



昭和45年9月生まれ

【学歴】

平成10年 東京工業大学大学院 情報理工学研究所 数理・計算科学専攻
博士後期課程修了（博士（理学））

【職歴】

平成10年 京都大学大学院工学研究科建築学専攻 助手
平成14年 東京電機大学理工学部数理科学科 助教授

平成19年 中央大学理工学部経営システム工学科 准教授（平成24年教授）

平成26年 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 教授 現在に至る

この間、JST CREST 研究代表者、統計数理研究所 客員教授、産業技術総合研究所 客員研究員、理化学研究所 客員研究員等

【OR学会関係】

平成5年 学生論文賞

平成18年 研究賞奨励賞

平成25年 研究賞

平成10年 第10回RAMPシンポジウム実行委員

平成13～14年 関西支部研究部会：若手OR研究者の会幹事

平成14年 第14回RAMPシンポジウム実行委員

平成19～21年 「計算と最適化の新展開」研究部会主査

平成21年 論文誌（JORSJ）「計算と最適化の新展開」特集号編集委員

平成23～25年 数理計画法特設研究部会幹事

平成26年～ 数理計画法特設研究部会運営委員

【著書等】

「Excelで学ぶOR」（共著、オーム社）

「応用に役立つ50の最適化問題」（共著、朝倉書店）

学術論文58編，研究発表多数

藤澤氏は数理計画問題やグラフ解析などの分野で研究活動をしており、特に大規模最適化問題に対する高速計算等の研究で本学会研究賞やGraph500ベンチマーク世界1位などを受賞しています。また、本学会においても研究部会の主査や幹事等を歴任して、その活動を支えています。

出馬 弘昭 (いづま ひろあき) 氏



昭和35年9月生まれ

【学歴】

昭和58年 京都大学工学部機械系物理工学科卒業

【職歴】

昭和58年 大阪ガス(株)入社

昭和63～64年 南カリフォルニア大学ロボット研究所 客員研究員

平成10年 エネルギー技術研究所 マネージャー

平成18年 情報通信部 マネージャー

平成20年 技術戦略部長

平成22年 (株)オービス総研出向 取締役 執行役員 経営企画部長

平成23年 取締役 常務執行役員 経営企画部長

平成24年 取締役 常務執行役員 営業本部長

平成28年 OGIS International, Inc. 出向 President and CEO

現在に至る

【OR学会関係】

平成25～26年 オペレーションズ・リサーチ学会副会長

出馬氏は、副会長職に加えて、研究普及委員会委員長を務められ、学会財政健全化の背景を踏まえ、研究部会活動費増額や支部事業費増額を推進し、学会活動の活況化に貢献された。また、会員増強・活性化を目指した「学会活性化委員会」の副委員長としても、委員長を補佐し、学会統一テーマ「オリンピック・パラリンピックとOR」設定や特設研究部会発足にも繋げた。これらの功績が評価され、フェローに推薦された。

小沢 利久 (おざわ としひさ) 氏



昭和36年5月21日生まれ

【学歴】

昭和59年 東京工業大学理学部情報科学科卒業

昭和61年 東京工業大学総合理工学研究科システム科学専攻修了

平成8年 東京工業大学博士(理学)学位取得

【職歴】

昭和61年 日本電信電話(株)研究所 研究員

平成7年 日本電信電話(株)研究所 主任研究員

平成11年 駒澤大学経営学部 講師

平成13年 駒澤大学経営学部 助教授

平成19年 駒澤大学経営学部 教授

現在に至る

【OR学会関係】

平成8～10年 研究普及委員

平成8～9年 待ち行列研究部会幹事(1996～1997年度)

平成11～24年 IAOR委員

平成13～16年 機関誌編集委員

平成21～24年 渉外委員

平成22～23年 渉外理事

平成24～25年 代議員

平成24～25年 待ち行列研究部会主査（2012～2013年度）
平成24年度（第31回）待ち行列シンポジウム実行委員長
平成25年度 確率モデルシンポジウム共同実行委員長

小沢氏の業績は、主に、情報通信ネットワークの設計、性能評価、および運用に対する、待ち行列理論的側面からの研究と、さらに待ち行列理論そのものの研究に関するものです。

現在、インターネットや移動通信ネットワークにより、高度な情報通信社会が実現されています。小沢氏は、そのインフラネットワークを構築するときに研究開発に従事し、待ち行列理論をベースに実用的に大きな貢献をされました。大学に転じてからは、オペレーションズ・リサーチの教育に専念されるとともに、待ち行列理論そのものの深化に対して顕著な業績を挙げています。また、本会運営に対する寄与には、極めて大きいものがあります。

池上 敦子（いけがみ あつこ）氏



【学歴】

昭和55年 立教大学理学部数学科卒業
平成13年 博士学位取得（博士（工学））

【職歴】

昭和56年 成蹊大学工学部助手
平成18年 成蹊大学工学部・理工学部講師
平成19年 成蹊大学工学部・理工学部准教授

平成21年 成蹊大学工学部・理工学部教授 現在に至る

この間、東京学芸大学 非常勤講師、東北大学大学院 非常勤講師、統計数理研究所 客員教授、政策研究大学院大学 客員研究員、名古屋大学 非常勤講師、筑波大学 非常勤講師、成蹊学園 常務理事

【OR学会関係】

平成9年 事例研究奨励賞
平成14～19年 機関誌編集委員
平成16年 事例研究賞
平成17年 春季研究発表会実行委員
平成18年 春季研究発表会実行委員&特別講演オーガナイザ
平成19年 学会創立50周年事業SSOR実行委員
平成20～22年 代議員
平成23年 春季研究発表会大会実行委員
平成25～27年 理事（機関誌編集委員長）
平成26年～現在 創立60周年記念事業「シリーズ：最適化モデリング」編集委員

【著書等】

OR事典2000（共著，日本OR学会），応用数理ハンドブック（共著，朝倉書店），サービスサイエンスの基礎—数理的アプローチによるイノベーションに向けて—（共著，筑波大学出版会）

池上氏はモデリング分野を中心に優れた研究と実践を重ねてこられました。特筆すべき業績としては、ナーススケジューリング問題の定式化と実用的解法アルゴリズムの開発、自動改札でも用いられている、最短路問題の活用による運賃計算問題の画期的高速化などが挙げられます。学会関係でも、事例研究賞を受賞され、オペレーションズ・リサーチ誌の編集委員長を務められるなど、さまざまな形で活躍・貢献しておられます。

西崎 一郎 (にしぎき いちろう) 氏



昭和34年1月29日生まれ

【学歴】

昭和59年 神戸大学大学院工学研究科修士課程システム工学専攻修了

平成5年 博士(工学)の学位取得(広島大学)

【職歴】

昭和59年 新日本製鐵(株)入社

平成2年 京都大学経済研究所 助手

平成5年 摂南大学経営情報学部 助教授

平成9年 広島大学工学部 助教授

平成14年 広島大学大学院工学研究科 教授

現在に至る

【OR学会関係】

平成8年度 秋季研究発表会実行委員

平成19年～ 現在 中国四国支部監事

西崎氏は長年にわたり、オペレーションズ・リサーチに関連する諸分野(とくに多目的決定分析・ゲーム理論・エージェント理論・数理計画)において、斬新かつ啓発的な多くの研究成果を挙げてこられ、海外および国内の多数の学術雑誌や著書において発表されてきました。その業績は内外で高く評価されています。また後進の若手の育成にも多大の労力を注がれ、日本オペレーションズ・リサーチ学会年次大会などの各地での活発な発表によって本学会の若手を含めた研究活動の活性化に大いに貢献されるとともに、年次大会研究発表会の実行委員、その他中国・四国支部での学会の運営について監事などとしても参画されてきています。

土肥 正 (どひ ただし) 氏



昭和40年6月18日生まれ

【学歴】

平成元年 広島大学工学部第二類(電気系)卒業

平成4年 広島大学大学院工学研究科システム工学専攻博士課程後期中途退学(博士(工学))

【職歴】

平成4年 広島大学工学部第二類(電気系) 助手

平成8年 広島大学工学部第二類(電気系) 助教授

平成14年 広島大学大学院工学研究科情報工学専攻 教授

平成22年 広島大学大学院工学研究院情報部門 教授

平成28年 広島大学学術院 教授、現在に至る

この間、プリティッシュ・コロンビア大学(カナダ) 客員研究員、デューク大学(アメリカ合衆国) 客員研究員

【OR学会関係】

平成4～15年 中国四国支部幹事

平成14～19年 研究普及委員

平成16～27年 中国四国支部運営委員

平成7年 春季研究発表会実行委員

平成9年 第32回SSOR実行委員

平成9年 第9回RAMPシンポジウム実行委員

平成11年 第20回事例研究奨励賞受賞
 平成19年 第57回シンポジウム実行委員長
 平成19年 オペレーションズ・リサーチ誌 (vol. 52, no. 7, 2007) 小特集号オーガナイザ
 平成26～28年 信頼性研究部会主査
 平成28年～ JORSJ特集号ゲストエディタ
 平成28年～ 中国四国支部支部長

【著書等】

査読付き学術論文約500編（雑誌論文224編，国際会議論文278編），編著・共著20編，共同執筆本30編，口頭発表多数。

土肥氏はこれまで一貫して，信頼性・保全性理論や生産在庫管理において生じる確率モデルの研究に従事し，さらに高信頼化計算（ディペンダブル計算）理論，ソフトウェア信頼性理論，性能評価理論において卓越した研究を行っておられます。数多くの国際会議の運営に参画されており，IFIP/IEEE DSNやIEEE ISSRE等，主要国際会議のプログラム委員を長期にわたり歴任し，そののべ件数は200件にのぼります。また，ISSRE 2011，ATC 2012を含む13の国際会議の実行委員長，三つの国際会議のプログラム委員長を務め，2004年からアジア環太平洋地域で隔年開催されている信頼性理論の主要国際会議APARM（旧名はAIWARM）は同氏によって設立されました。学術雑誌の編集活動にも積極的であり，APJOR，IJIEを含む国際学術雑誌14誌の副編集長もしくは編集委員を現在務めており，これまでにEJOR，ACM JETCS，Commun. Statist. 等30誌以上の国際論文誌特集号におけるゲストエディタを歴任しています。

茨木 智（いばらき さとる）氏



昭和40年9月生まれ

【学歴】

平成5年 京都大学大学院工学研究科数理工学専攻
 博士後期課程中途退学（博士（工学））

【職歴】

平成5年 京都大学工学部 助手
 平成9年 名古屋市立大学経済学部 助教授（准教授）

【OR学会関係】

平成 2年 学生論文賞
 平成 6～7年 関西OR若手の会主査
 平成12～14年 中部支部研究幹事
 平成15～21年 中部支部運営委員
 平成22～28年 中部支部広報幹事
 平成20～21年 研究普及委員
 平成28年～現在 中部支部副支部長
 平成25年 秋季研究発表会実行委員

茨木氏は，中部支部において，研究幹事，広報幹事，運営委員などの役員を歴任されてきました。特に広報活動では，支部ホームページの設計，メーリングリスト等を含め主導的な役割をされ，近年では高校への出前講義等の高大連携等を通して，高校生に対しORの知名度を上げることで中心的作用をされています。研究面ではスポーツや大学業務におけるスケジュール作成等身近な問題に対するOR手法の適用に関連する研究に取り組み成果を上げておられます。